



MUFG ウェルス・インサイト・ファンド(保守型)(標準型)(積極型)

追加型投信/内外/資産複合

MUFG ウェルス・インサイト・ファンド(マネープール)

追加型投信/国内/債券

運用開始のお知らせ

ファンド情報提供資料
データ基準日: 2021年6月4日

平素より、「MUFG ウェルス・インサイト・ファンド」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

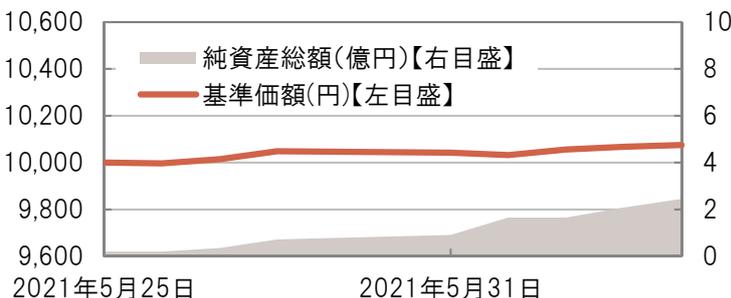
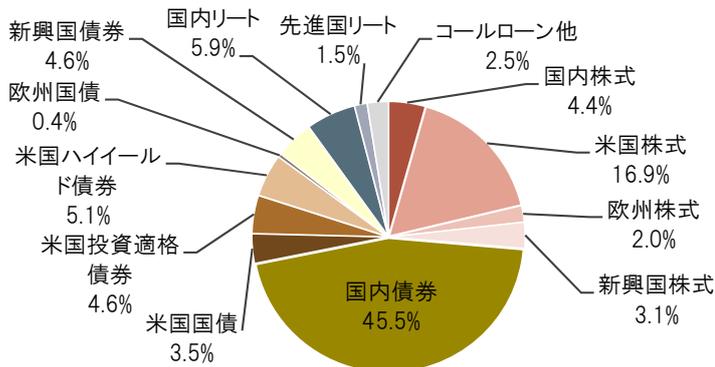
当ファンドは2021年5月25日に設定され、運用を開始いたしました。つきましては、(保守型)(標準型)(積極型)の2021年6月4日現在の資産構成比率や基準価額等の推移についてご報告申し上げます。

今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

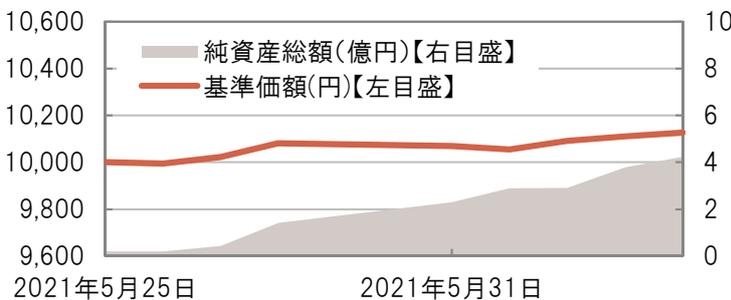
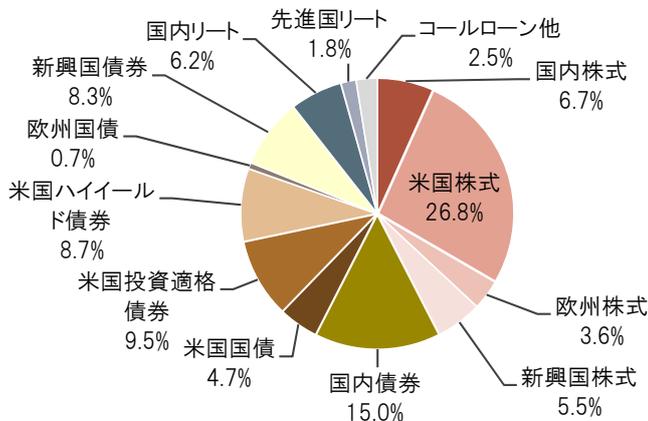
資産構成比率
(2021年6月4日現在)

基準価額および純資産総額の推移
(期間: 2021年5月25日(設定日)~2021年6月4日)

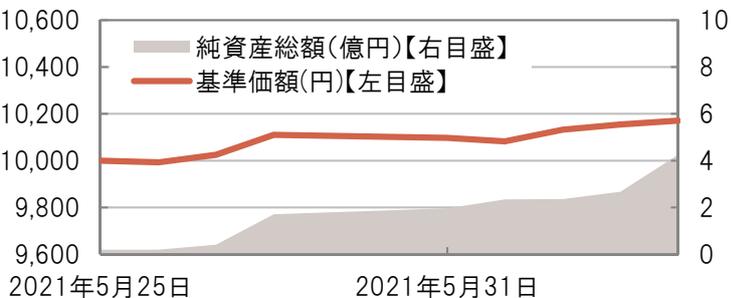
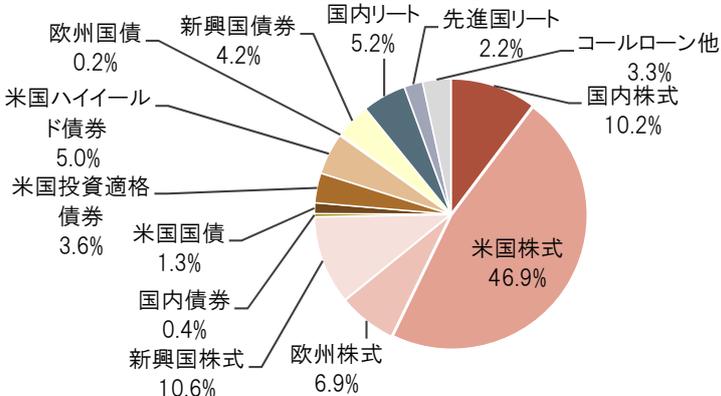
保守型



標準型



積極型



※本資料はMUFG ウェルス・インサイト・ファンド(保守型)(標準型)(積極型)の運用状況を投資家のみなさまにご紹介するために作成したものです。このため、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモなどについては投資信託説明書(交付目論見書)をご確認いただく必要があります。

・基準価額は、1万口当たりであり、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。・表示期間において分配金のお支払いはありませんでした。・比率は、各資産別に投資している投資信託証券の評価額をもとに計算したものです。原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

MUFG ウェルス・インサイト・ファンド(保守型)(標準型)(積極型)(マネープール)

ファンドの目的

保守型／標準型／積極型

日本を含む世界各国(新興国を含みます。以下同じ。)の株式、債券、不動産投資信託証券(リート)、商品(コモディティ)およびオルタナティブ資産を実質的な主要投資対象とし、利子収益および配当収益の確保ならびに値上がり益の獲得をめざします。

マネープール

わが国の公社債等を実質的な主要投資対象とし、主として安定した利子収益の確保をめざします。

ファンドの特色

目標リスク水準が異なる3つのファンドとマネープールの計4ファンドから構成されています。

保守型／標準型／積極型の特色

1 日本を含む世界各国の様々な資産に分散投資を行います。

- 投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界各国の株式、債券、不動産投資信託証券(リート)に投資を行います。また商品(コモディティ)、オルタナティブ資産に投資することがあります。

・投資信託証券への投資を通じて、上記の各投資対象資産に関連するデリバティブを利用する場合があります。また、上記の投資対象資産のすべてには投資を行わない場合があります。

・オルタナティブ資産とは、非伝統的資産および非伝統的な運用手法における投資対象資産をいいます。

- 投資対象となる投資信託証券(以下、「指定投資信託証券」ということがあります。)の選定は、投資信託証券の定量・定性の評価等を勘案して行います。なお、指定投資信託証券は適宜見直しを行います。この際、指定投資信託証券として選定されていた投資信託証券を除外したり、新たに投資信託証券(ファンド設定以降に設定された投資信託証券を含みます。)を指定投資信託証券として選定する場合もあります。

- 投資信託証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。

2 保守型、標準型、積極型の3つのファンドから選択できます。

- お客様のリスク許容度に応じて、目標リスク水準の異なる3つのファンドから選択できます。

<各ファンドの目標リスク水準>

保守型(安定性を重視): 年率標準偏差6.0%程度

標準型(安定性と成長性を重視): 年率標準偏差10.0%程度

積極型(成長性を重視): 年率標準偏差14.0%程度

・目標リスク水準は、各ファンドの価格変動リスクの目安を表示したものです。各ファンドのポートフォリオを構築する際の目標値として使用するものであり、リターンや利回りを示したものではありません。なお、各ファンドの実際のリスク水準が目標リスク水準を上回る場合や下回る場合があり、運用成果を保証するものではありません。・一般に、リスクが大きい(小さい)ファンドほど期待されるリターンが大き(小)くなる傾向があります。(必ずしもこのような関係にならない場合があります。)

3 グローバル市場についての長期および短期見通しに関する分析をふまえ、分散投資を行います。

- 各ファンドの運用にあたっては、三菱UFJモルガン・スタンレー証券 投資顧問部から投資助言を受けます。

4 原則として、為替ヘッジを行いません。

- 原則として為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。

5 年1回の決算時(5月20日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。

- 分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。
(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

(初回決算日は、2022年5月20日です。)

マネープールの特色

1 わが国の短期公社債等を中心に投資し、主として安定した利子等収益の確保を図ります。

2 年1回の決算時(5月20日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。

- 分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。
(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

(初回決算日は、2022年5月20日です。)

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

実質的な投資対象資産 (2021年5月6日現在)

		投資対象資産			コモディティ、 オルタナ ティブ資産
		株式	債券	リート	
投資対象地域	日本	・国内株式	・国内債券	・国内リート	
	先進国	・米国株式 ・欧州株式	・米国国債 ・米国投資適格債券 ・米国ハイイールド債券 ・欧州国債	・先進国リート	
	新興国	・新興国株式	・新興国債券		

・上記の具体的な地域の投資対象資産は将来変更となることがあります。

MUFG ウェルス・インサイト・ファンド(保守型)(標準型)(積極型)(マネープール)

投資リスク

基準価額の変動要因:「MUFG ウェルス・インサイト・ファンド(保守型)(標準型)(積極型)」の基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動、金利変動による組入公社債の価格変動、リート市場の相場変動による組入リートの価格変動、景気・為替・金利の相場変動や生産・需給関係や政治情勢変化等の特殊要因によるコモディティの価額変動、情報の取得困難性や価格の不透明性並びに実質的な投資対象の相場変動によるオルタナティブ資産の価格変動、原資産の相場変動等によるデリバティブ取引等や指数先物の価格変動、為替相場の変動等により上下します。「MUFG ウェルス・インサイト・ファンド(マネープール)」の基準価額は、金利変動による組入公社債の価格変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。

「MUFG ウェルス・インサイト・ファンド(保守型)(標準型)(積極型)」の主な変動要因は、価格変動リスク(デリバティブ取引、先物取引等を含む)、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリー・リスクです。また、格付けの低い債券へ投資する場合があります。格付けの高い公社債への投資を行う場合に比べ、価格変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。「MUFG ウェルス・インサイト・ファンド(マネープール)」の主な変動要因は、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスクです。上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドの費用

◎お客さまが直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入価額に対して、 上限1.10%(税抜1.00%) 販売会社が定めます。くわしくは、販売会社にご確認ください。 ※マネープールはかかりません。 ■スイッチングの場合 ありません。
換金時	信託財産留保額	ありません。

◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	運用管理費用(信託報酬)	【保守型／標準型／積極型】 ■各ファンド: 日々の純資産総額に対して、 年率1.2265%(税抜 年率1.1150%) をかけた額 ※上場投資信託(リート)は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託の費用は表示していません。 ■投資対象とする投資信託証券: 各ファンドの投資対象ファンドの純資産総額に対して、 年率0.03%~0.06%程度 ※各ファンドが投資対象とする投資信託等(マザーファンドを通じて投資する投資信託等を含む)の信託報酬率を資産配分比率で加重平均した率です。(2021年5月6日現在) ■実質的な負担: 各ファンドの純資産総額に対して、 年率1.2565%~1.2865%程度(税込) ※投資対象とする投資信託証券の信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率(概算値)を算出したものです(2021年5月6日現在)。各投資信託証券への投資比率が変動する可能性や投資信託証券の変更の可能性があることから、実質的な料率は変動します。したがって事前に固定の料率、上限額等を表示することはできません。 【マネープール】 日々の純資産総額に対して、 年率0.605%(税抜 年率0.550%)以内 をかけた額
	その他の費用・手数料	以下の費用・手数料についても各ファンドが負担します。 監査法人に支払われる各ファンドの監査費用/有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料/投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等(マネープールを除く各ファンド)/投資対象とする投資信託証券の換金に伴う信託財産留保額(マネープールを除く各ファンド)/有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用/その他信託事務の処理にかかる諸費用 等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、各ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時に各ファンドから支払われます。※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、各ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

スイッチング

MUFG ウェルス・インサイト・ファンドを構成する各ファンド間でのスイッチングが可能です。ただし、マネープールの購入は、保守型、標準型および積極型からのスイッチングによる購入の場合に限ります。販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングの取扱いを行わない場合があります。

スイッチングを行う場合の購入時手数料は、販売会社が定めています。(マネープールについて、購入時手数料はかかりません。)

なお、スイッチングにより換金をする場合は、換金代金の利益に対して税金がかかります。くわしくは販売会社にご確認ください。

MUFG ウェルス・インサイト・ファンド(保守型)(標準型)(積極型)(マネープール)

ファンドの仕組み

保守型／標準型／積極型：ファンド・オブ・ファンズ方式により運用を行います。

・ファンド・オブ・ファンズ方式とは、株式や債券などに直接投資するのではなく、複数の他の投資信託証券に投資するしくみです。

マネープール：ファミリーファンド方式により運用を行います。

・ファミリーファンド方式とは、受益者から投資された資金をまとめた投資信託をベビーファンドとし、その資金の全部または一部をマザーファンドに投資して、マザーファンドにおいて実質的な運用を行う仕組みです。

<投資対象とする投資信託証券>(2021年5月6日現在)

TOPIXマザーファンド

S&P500インデックスマザーファンド

新興国株式インデックスマザーファンド

iシェアーズ・ストックス・ヨーロッパ600 UCITS ETF*

日本債券インデックスマザーファンド

米国国債7-10年ラダーマザーファンド

米ドル建て新興国債券インデックスマザーファンド

iシェアーズ・コア・ユーロ国債 UCITS ETF*

米国投資適格債券マザーファンド

米国ハイイールド債券マザーファンド

東証REIT指数マザーファンド

MUAM G-REITマザーファンド

* 国内未届けの投資信託証券であり、日本語名称は、iシェアーズ®の英文正式名称の直訳を示しています。

販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○

本資料に関するご注意事項

- 本資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

- お客さま専用フリーダイヤル:
0120-151034(受付時間/営業日の9:00~17:00)
- ホームページアドレス:
<https://www.am.mufg.jp/>

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

設定・運用

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会